

「ありがとうございます！渡辺正先生」

岡崎に新しい風を吹き込んでくださった愛知病院緩和ケア部長の渡辺正先生が六月で退職されました。日本における緩和医療の先駆者としての知識や技術だけではなく、先生が今までの人生で何を大切にされてきたかを感じた一年半でもありません。

病院スタッフへの信頼とそれに応えようとする主治医や看護師さんたちのチームワークも外来受診、ティールサービス、クリスマス会、家族会などの折々に感じました。亡くなった友人からの感謝の言葉を伝えたときも「色々教えて頂きました。あれでよかったですかねえ」と謙虚な先生でした。

後任には野田淳子先生が就任されました。市民病院緩和ケアを考える会の一員として私たちの勉強会にも参加され、麻酔科医師としてずっと緩和医療に関心を持っておられました。今、渡辺先生と同じように患者さんの願いを支えてくださっています。

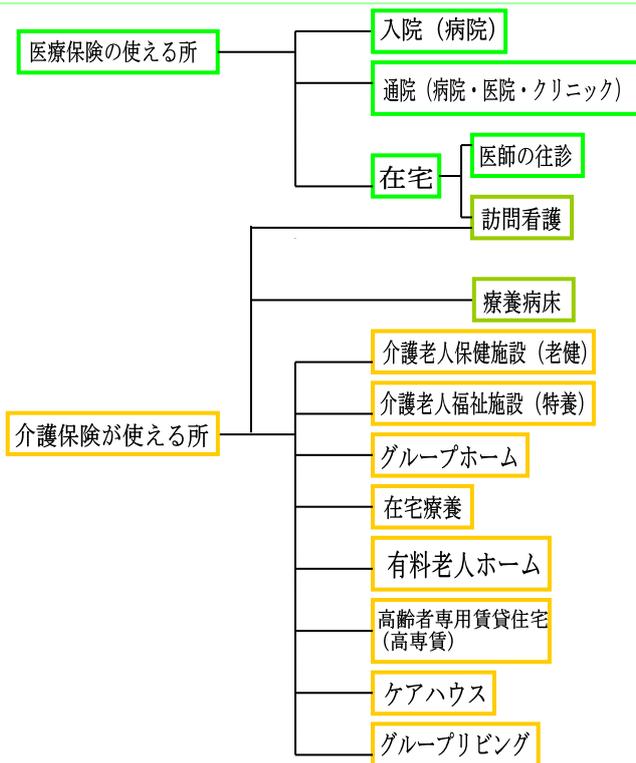
近年各地に緩和ケア病棟ができてきましたが、医師の数が追いつかず廃棟の病院もあると聞きます。岡崎は恵まれています。渡辺先生が築かれた緩和医療の業と心が、多くの先生方や看護師さんに受け継がれていくでしょう。

橋詰清子



## 「勉強会」の報告

「どうなるの？岡崎の医療Ⅱ」7月27日（金） 竜美丘会館



運営委員と希望者で4・5・6月と3ヶ月間、医療保険の範囲内でできる医療を勉強してきました。三大疾患であるがん・心臓病・脳血管疾患・と骨折で、総合病院（市民病院）に入院し治療が完了後、後遺症などで自宅に戻れない場合、どういう選択方法があるか、またお金はどのくらい必要かを座談会方式で発表しました。（左図 緑色部分）

〔今後の計画〕

- ①9・10月介護保険を使つての利用方法をと勉強します。
- ②8月は自宅近辺の介護施設を見学します。
- ③11月9日勉強会「どうなるの？岡崎の医療Ⅲ」で発表します。（左図 黄色）



### 〔感想文〕

- ・今更ながら医療の複雑、難しさを考えさせられた。誰でも平等に良い医療が受けられる事を望みます。
- ・今後独居の人たちが増加するだろうことが予想されます。身元保証人のこと、医療環境の事など、目をはなせないことばかりです。NHKの番組で縁者のいない人、理由があつて縁者と縁を切っている人など身元保証をしてくれる人がいないため、医療が受けられない人がいるとも聞き、今後の大切な問題かと思いました。
- ・身近な友人ががんで手術をしました。診断から治療に至る現在までの間の過程を共に歩み、不安に対するにはどのように向かえばよいかと考えていました。本日は社会資源を使う具体的内容を学ぶことができ、ありがとうございました。
- ・大変分かりやすく勉強できました。ありがとうございました。
- ・入院日数に例外があり、相談すれば可能な時もあることを知り安心した。相談室を利用させていただきます。高額療養費限度額適応認定書、ありがたい知識でした。

※資料（7枚）が欲しい方は7月27日の補足をして、お分けします。（送料含 300円）ご連絡ください。

## “手縫い”の報告

愛知病院・市民病院・国際病院・施設へ雑巾や依頼された品を手作りしてお届けしています。

### 募集

毎月第2火曜日に愛知病院で雑巾づくり、第4木曜日にカトリック岡崎教会で布の印付け、裁断、アイロン、ミシンかけをしています。おしゃべりを楽しみながらの作業ですので、気軽においでください。



### 現在作成中のもの

- ①ティーサービスのボランティアで使う、可愛い刺繍入りのブルーのエプロン (お楽しみに！)
- ②なの花苑へ・ゴム入りのエプロン
- ③市民病院へ・クールバックカバー (20枚)・氷枕カバー (15枚)・コールドホットパックいれ (20枚)・氷枕カバー (20枚)・綿入紐・氷枕 (マジックテープつき) 10枚・カルテ袋 10枚
- ④愛知病院へ・自由鉤カバー20枚・肝臓鉤カバー20枚・直腸鉤カバー20枚

### お知らせ

抗がん剤で髪が一時的に抜けてしまった方が利用できるように、2種類のバンダナを作っています。マジックミシンさん (ジャスコ南店の直しの店) が、地域の人々に還元できたらとボランティアを申し出てくださり業務用ミシンを使わせていただいています。

※バンダナは、市民病院・愛知病院の相談室に見本があり、今まで多くの方が利用されています。

## “つどい”の報告

患者・家族・遺族の会員の集まりです。

一期一会といいますがこの集まりも又、初めて会う人、久しぶりに会えてほっとする人などその時を共にする出会いの場所です。話すことで心を解放し、聴くことで客観的になれる自分を見つめることができるのではないのでしょうか。

「まず、自分の手、それから足を感じてみてください。からだ座布団に触れている部分を感じてください」「どうですか、温かいですか」「次に自分のからだや中心の部分に注意を向けてください。のどや胃、お腹の辺りにはどんな感じですか」「気になるところはありますか、痛いところ違和感はありませんか」……………木村先生のフォーカシングはこのように始まります。自分で身体の内に向かって、心の中の声を聴く方法も少しだけ体験しました。次のフォーカシングは1泊2日で行う計画です。通信でお知らせします。

## “緩和ケア病棟ボランティア”の報告

ティーサービス・季節の模様替え・アロママッサージ・楽器演奏

ボランティアは、患者さんが先に「病室に来てもいいよ」と受け入れてくださったからできるのです。重い病気にもかかわらずこのような「温かいもてなし」をしてくださる患者さんとご家族の気持ちに伝えられますように・・・という気持ちでお茶をお届けしています。暑くなりましたのでアイスコーヒー・アイスティーも始めました。衛生面でも病院側が指導して下さりその配慮が嬉しいです。また、ほとんどの材料を調達して下さるようにもなりました。感謝です。

### ◆ボランティア (ティーサービス) 募集

約束事を守り活動する気持ちのある方を募集しています。

ミーティングに出席し、活動を見学してみませんか。

### ◆アロマオイルマッサージを始めます。

今まで習ったアロマオイルマッサージを実践することになりました。

1度でも習った人は、患者さんやご家族へお返ししてみませんか。本当にだるい時や疲れた時は、ただそっとさすってもらっただけでも気持ち良くなるものです。

### ◆楽器演奏もしています。



### ◆お知らせ

1. 9月10月に「介護保険を使っての利用法」を勉強します。  
8月は各自自宅近辺の介護施設を見学します。  
運営委員と一緒に勉強して下さる方はご連絡ください。
2. ティーサービス・アロマオイルマッサージ・楽器演奏など緩和ケア病棟ボランティアに協力して下さる方のご連絡もお待ちしています。

【連絡先】 橋詰 0564-53-3100 小野 0564-24-8518